

ツキノワグマのエサ資源の事前予測について

例年、ツキノワグマの秋の主要なエサ資源であるブナ科植物（ブナ・ミズナラ・コナラ）の果実の豊作、凶作を予測することにより、ツキノワグマの出没傾向を予想している。エサ資源の事前予測については、ブナ科植物の雄花の落下数から推定している。

1 調査内容

(1) 調査地点

ツキノワグマの生息がこれまでに確認された8市町内の地点

〔加賀市・小松市・能美市・白山市・金沢市・津幡町・中能登町・宝達志水町〕

(2) 調査期間

5月～6月

(3) 調査方法

1調査地点につき5箇所、1㎡あたりのブナ、ミズナラ、コナラの雄花の落下数を調査し、調査地点全体の平均値によりエサ資源を事前予測。

(単位：個/㎡)

樹種	大凶作	凶作	並作	豊作	大豊作
ブナ	<30	30 ≤ <200	200 ≤ <900	900 ≤ <1,700	1,700 ≤
ミズナラ	<50	50 ≤ <200	200 ≤ <300	300 ≤ <500	500 ≤
コナラ	<50	50 ≤ <200	200 ≤ <1,000	1,000 ≤ <1,900	1,900 ≤

※石川県林業試験場の研究結果による判定基準

2 調査結果

樹種	調査地点	事前予測	雄花落下数平均値 (個/㎡)
ブナ	24地点	並作	415
ミズナラ	23地点	大豊作	601
コナラ	28地点	並作	922

(参考)

H29		H28	
凶作	124	大凶作	13
豊作	454	豊作	439
並作	806	並作	676

3 着果状況における豊凶結果と平成30年の雄花調査によるエサ資源の事前予測

区分	各年度の着果状況における豊凶結果										H30 雄花調査 による 事前予測	凡例	
	H16※	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29			
ブナ	×	◎	×	◎◎	▲	▲	▲	◎	▲	○	○	◎◎	◎◎
ミズナラ	×	◎	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎◎	◎◎	◎
コナラ	×	○	○	◎	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○
目撃件数	1006 (89)	58 (31)	353 (53)	60 (34)	126 (62)	147 (110)	256 (103)	195 (103)	246 (155)	200 (131)	— (122)	— (122)	◎◎

※H16は大量出没があったことから事後に緊急調査を実施

※()内は7月22日時点の目撃件数

4 今後の予定

8月に「着果状況調査」を実施し、より精度の高い豊凶予測を9月上旬に公表予定。